

栃木市監査委員告示第9号

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定による定例監査を実施したので、同条第9項の規定によりその結果を次のとおり公表いたします。

平成28年6月29日

栃木市監査委員 藤 沼 康 雄

栃木市監査委員 天 谷 浩 明

1. 監査の実施日 平成28年6月28日
2. 監査の対象 消防本部  
消防総務課 予防課 警防課 通信指令課  
消防署  
消防第1課 消防第2課
3. 監査の方法  
平成28年5月末日までに執行された事務事業について、関係する帳簿類、証ひょう書類の提出を求め、その効率性と適法性等を照査、検討し、関係職員の説明を聴取して実施した。  
予算の執行状況については、平成27年度の執行状況を記載した。
4. 監査の結果  
次のとおり

## 消防本部

### ◎ 消防総務課

#### 1. 事務組織及び職員

消防総務課には2係が置かれ、課長ほか13名でそれぞれ事務を分掌している。

#### 2. 事務事業の実施状況

消防総務係では、消防職員研修事業、消防本部管理事業、消防本部運営事業、消防職員福利厚生事業、消防本部庁舎施設維持事業、消防本部車庫設置事業、分署救命ボート格納庫設置事業等に関する事務が行われている。

消防団係では、消防団運営事業、1市1町合同水防演習事業、消防用機械器具購入事業等に関する事務が行われている。

#### 3. 予算の執行状況

一般会計の歳入は、予算現額 14,683,000 円に対し、収入済額 25,002,315 円で 170.28%の収入率である。

その主なものは、東北道・北関東道救急業務負担金、危険物施設設置許可等手数料、消防団員福祉共済事務費返戻金である。

一般会計の歳出は、予算現額 309,327,000 円に対し、支出負担行為額 273,082,112 円で 88.28%の執行率である。

その主なものは、消防団運営費における消防団員報酬、火災・訓練出場手当、消防団員公務災害補償等組合負担金、各方面隊互助会補助金、消防職員研修事業費における県消防学校入校負担金、消防本部運営費における消防職員消耗被服費、消防施設維持管理費における防火水槽撤去等工事請負費、消防ポンプ自動車等購入事業費における藤岡方面隊ポンプ車購入費、消防団機械器具置場等整備事業費における栃木方面隊器具置場解体及び新築工事請負費、大平分署非常電源設置工事請負費、平成27年9月大雨災害による罹災消防車両修繕料及び消防団出場手当である。

一般会計の歳出（繰越明許）は、予算現額 22,000,600 円に対し、支出負担行為額 17,118,000 円で 77.81%の執行率である。

その主なものは、栃木方面隊器具置場解体及び新築工事請負費である。

なお、予算の執行は適正に行われており、その関係する帳簿、書類等は適正に処理されていた。

## ◎ 予防課

### 1. 事務組織及び職員

予防課には3係が置かれ、課長ほか9名でそれぞれ事務を分掌している。

### 2. 事務事業の実施状況

予防係、危険物係及び査察係では、火災予防普及啓発事務、火災調査等に関する事務が行われている。

### 3. 予算の執行状況

一般会計の歳出は、予算現額2,688,000円に対し、支出負担行為額2,662,887円で99.07%の執行率である。

その主なものは、一般経常事務費における管理ソフト委託料、住宅用防災機器普及啓発事業費における警報機設置推進リーフレット代である。

なお、予算の執行は適正に行われており、その関係する帳簿、書類等は適正に処理されていた。

## ◎ 警防課

### 1. 事務組織及び職員

警防課には2係が置かれ、課長ほか5名でそれぞれ事務を分掌している。

### 2. 事務事業の実施状況

警防係では、修繕等を行う器材等管理事業、消防ポンプ自動車等の車検整備及び修繕等を行う消防車管理事業、消防・救急資器材購入事業、はしご付消防ポンプ自動車購入事業、救命ボート購入事業等に関する事務が行われている。

救急管理係では、救急救命士養成事業、救急自動車等の車検整備及び修繕を行う救急車等管理事業、応急手当普及啓発事業等に関する事務が行われている。

### 3. 予算の執行状況

一般会計の歳出は、予算現額 100,463,000 円に対し、支出負担行為額 99,239,735 円で 98.78%の執行率である。

その主なものは、救急救命士養成事業費における救急救命士研修所入所経費、器材等管理費における油圧救助器具等点検手数料及び消毒滅菌等委託料、救急車等管理費における救急車両車検修繕料、高規格救急自動車購入費、消防ポンプ自動車購入費、指揮車購入費である。

なお、予算の執行は適正に行われており、その関係する帳簿、書類等は適正に処理されていた。

## ◎ 通信指令課

### 1. 事務組織及び職員

通信指令課には2係が置かれ、課長ほか8名でそれぞれ事務を分掌している。

### 2. 事務事業の実施状況

通信指令第1係及び通信指令第2係では、通信指令システム事業、消防救急デジタル無線施設維持管理事業、気象観測事業、通信施設電源更新事業等に関する事務が行われている。

### 3. 予算の執行状況

一般会計の歳出は、予算現額23,217,000円に対し、支出負担行為額22,990,068円で99.02%の執行率である。

その主なものは、通信指令システム費における消防指令装置保守点検業務委託料、消防OAパソコンリース料である。

なお、予算の執行は適正に行われており、その関係する帳簿、書類等は適正に処理されていた。

## 消 防 署

### ◎ 消防第1課

#### 1. 事務組織及び職員

消防第1課には3係が置かれ、課長ほか28名でそれぞれ事務を分掌している。

#### 2. 事務事業の実施状況

消防係、指導係及び救急係では、消防署共通管理事業、栃木消防署管理運営事業、栃木消防署施設維持事業等に関する事務が行われている。

#### 3. 予算の執行状況

一般会計の歳出は、予算現額25,552,000円に対し、支出負担行為額24,757,789円で96.89%の執行率である。

その主なものは、消防署共通管理費における災害活動消耗品、救急活動医薬材料費、コピー機等借上料、栃木消防署管理運営費における車両燃料費、庁舎光熱水費である。

なお、予算の執行は適正に行われており、その関係する帳簿、書類等は適正に処理されていた。

## ◎ 消防第2課

### 1. 事務組織及び職員

消防第2課には3係が置かれ、課長ほか28名でそれぞれ事務を分掌している。

また、大平分署17名、藤岡分署16名、都賀分署14名、西方分署14名、岩舟分署17名でそれぞれ事務を分掌している。

### 2. 事務事業の実施状況

消防係では、各分署管理運営事業、各分署施設維持事業等に関する事務が行われている。

### 3. 予算の執行状況

一般会計の歳出は、予算現額21,407,000円に対し、支出負担行為額20,890,747円で97.59%の執行率である。

その主なものは、各分署管理運営費における車両用燃料代、光熱水費、藤岡分署施設維持費における事務所網戸修理及び屋根防水改修工事費である。

なお、予算の執行は適正に行われており、その関係する帳簿、書類等は適正に処理されていた。